

救急救命士による気管挿管同意書

(病院控)

様の
年 月 日に予定されている
科の

手術に必要な麻酔について

患者様の麻酔は麻酔科専門医が行いますが、麻酔状態になった後行われる気管挿管については厚生省のガイドラインにしたがった救急救命士による気管挿管実習に協力をお願いいたします。

救急救命士が行うことは

- ・手術室に患者様が入ってきた後、酸素をマスクで投与し、
- ・麻酔薬で患者様が眠った後、マスクで人工呼吸をし、
- ・気管挿管を行い、
- ・気管チューブをテープで固定し
- ・人工呼吸を再開する

までです。

この間、麻酔科専門医が十分な注意を払い、患者様の安全を確保します。麻酔業務自体は麻酔科専門医が行います。気管挿管に伴う合併症で最も多く認めることは歯牙の損傷、口唇の裂傷、喉の痛み、声が哽れることなどで、ある程度の頻度で発生します。気管挿管に時間がかかりすぎる場合は途中で止めますし、合併症を防止するための方策をめぐらせながら指導します。

救急救命士による気管挿管実習を拒否されても診療上何ら不利益は生じません。

年 月 日 時 分

説明医師氏名

印

救急救命士氏名

印

救急救命士による気管挿管の意義および気管挿管実習のやり方についての説明を受け

- その主旨を理解できましたので、救急救命士による気管挿管に同意します。
 その主旨を理解できましたが、救急救命士による気管挿管に同意しません。

年 月 日

病院

院長

殿

(患者様) 氏名

印